



◀8月23日、第51回八千代ふるさと親子祭が開催され、5000発の花火が夜空を彩りました

千葉県弁護士会と「災害時の法律相談等に関する協定」を締結

7月30日、千葉県弁護士会及び本市が連携して、災害時における法律相談等に取り組むことを目的とする「災害時の法律相談等に関する協定」の締結式が行われました。

本協定に基づき、災害時に災害相談窓口を開設し、被災者支援のための法律相談などの各種相談に対応します。



◀千葉県弁護士会金城会長（左）と服部市長

高校生が参加する「にぎわいの創出」をテーマにしたワークショップを開催

8月12日、高校生が市の社会課題解決やまちづくりに関わる機会をつくるため、市のにぎわいの創出をテーマにしたワークショップを開催しました。

市内の高校に通う生徒14人が参加し、新たな観光資源の発掘や新川を生かした市のシティプロモーションについてアイデアを出し合いました。バスで市内の名所やご当地グルメなどを満喫する「八千代満喫さっぷ」や「ショート動画による魅力発信」などのアイデアが発表され、服部市長からは、「自由な発想で提案してくれたアイデアを参考に、これからの八千代のにぎわいの創出に生かしたい」と話がありました。



◀グループに分かれてアイデアを出し合いました

囲碁の県大会で優勝 いずれは大会で勝ち進みプロと戦いたい

6月22日、第46回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会の県大会が開催され、高津中3年の清水義貴さんが、中学生名人戦で優勝しました。続く7月29日の全国大会では、一次リーグ戦2勝1敗で本戦トーナメントには進めませんでしたが、「負けても次頑張ろうと思える」と、囲碁への熱意を伝えてくれました。

清水さんは5歳頃に読んだマンガで興味を持ち、図書館の本で独学で勉強し、囲碁を始めました。小学校に入ってから、碁会所や囲碁道場で力をつけていきました。囲碁の魅力は、「年齢に関係なく打てる」ところ。今後も勉強と両立して続けていきたい」と語ってくれた清水さん。今後の活躍を応援しています。



◀県大会優勝時の賞状とトロフィーを持つ清水さん

ミニ・ガイド

■行政書士による無料相談会 相続、遺言、外国人ビザ関係、各種許認可などの相談を受けます。10月4日(土)午後1時～3時、船橋駅北口デッキ広場、船橋駅南口広場（連絡通路）、J R 津田沼駅南北デッキ（※J R 津田沼駅会場は午後2時30分に終了）。問い合わせは、千葉県行政書士会葛南支部☎080-5640-0840

■千葉労働局・ハローワークからのお知らせ 就職やスキルアップにハロートレーニング（公的職業訓練）を活用してみませんか。受講料は無料です（在職者または学卒者向けコースのみ有料です。なお、テキスト代などの自己負担があります）。また、一定の要件を満たす場合、訓練受講中の生活支援のための給付金制度があります。詳しくは、最寄りのハローワークにご相談ください。訓練コースなどは、右のコード（千葉労働局ホームページ）から確認できます



■精神障害者家族「対話の集い」 精神障害者を身内に持つ家族が、悩みや心配ごとなどについて話し合う集いを開催します。9月25日(木)午

後1時30分～4時、プラッツ習志野（習志野中央公民館）北館集会室1。申し込みは、電話またはファクスで習志野八千代心の健康を守る会・渡邊☎☎453-6760へ

■令和7年度第1回千葉県バス会社合同就職説明会 県内17社の就職相談ブース、バスの運転を体験できるVR運転体験シミュレーション、現役バス運転手によるトークセッションなど。参加費無料、未経験者歓迎。9月20日(土)午前11時～午後4時、幕張メッセ国際会議室（J R 海浜幕張駅から徒歩5分）。申し込みは千葉県ホームページから。問い合わせは、県交通計画課☎043-223-2063へ

■やってみよう！視覚障害者サポート体験講座 視覚障害者のサポートに興味がある人（中学生以上）対象。視覚障害当事者を講師に招き、日常生活の話やアイマスク、点字、ガイドヘルプ体験、盲導犬ユーザーの講話など。11月1日から2月7日毎週土曜日午前10時～正午（第3土曜日、12月27日、1月3日を除く）全10回、市障害者福祉センター。定員12人。参加費1人1,000円（初回に徴収）。申し込みはきらめき支援センター☎485-1245☎485-1329まで

市民伝言板

●劇団風の子「ちえんじ・図書室のすきまから」 本の世界に迷い込んだ小学生の主人公と一緒に旅する舞台劇。10月26日(日)午後3時～4時15分（2時30分開場）、市民会館。大人3,000円、子ども2,000円。詳細・申し込みは子どもネット八千代ホームページから。問い合わせは、赤崎☎486-4699（公益事業補助金対象事業です）

●Fair y Bell イングリッシュハンドベルコンサート 美しく荘厳な音色をお楽しみください。10月11日(土)午後2時開演（1時30分開場）、市民会館。申し込み不要。金田☎090-9670-3455

●セカメンプロジェクトin八千代地域生活支援センター 映画上映&トークセッション。定員50人。9月26日(金)午後6時～9時、八千代地域生活支援センター。申し込みは右のコードから。木崎☎481-3555



防災無線自動電話応答サービス

☎0120(970)911

無通
料話

24時間以内の防災無線放送の内容を確認できます

やちよ文芸コーナー

短歌

鶴岡 美代子選

早苗田に白鷺の白際立ちて五羽が舞い立つ栗花落の空へ

（桑 納）石上 文枝

テレビでは凶悪な事件立て掛けたモップの倒れる音響く夜

（大和田新田）多田 一美

母のおむつ手にする時は吾だけの平気な顔のコンテスト開催

（八千代台西）伊藤 智子

組み終えしばかりの足場を歩く人々焼けバックに口笛吹いてる

（八千代台東）藤井 京子

あるはずの庭の小池が潰されて蛙は如雨露の下でげと鳴く

（八千代台西）田崎 木実

新聞歌壇にて名前のみ知る歌詠みは三十年来の友人のごとし

（八千代台南）一戸 光代

八十路にてはじめて習う盆踊りふるさと音頭難しうれし

（桑 橋）野田 節子

踊りの輪老若男女軽やかに広がりゆきて夜の深まる

（村上団地）菅野 紀子

選評 一首目、既視感はあるが美しい景だ。栗の花が落ちる

季から「栗花落」は「梅雨入」と同意。言葉の選択に

気遣いと意欲がある。二首目、内容の異なる上句と下句を繋げ

て、物騒な世情への緊張感を表出した。巧みな作品。三首目、

母親の介護時のこと、嫌な顔をすれば母親を悲しませること

になるから、それはしないようにと自分に言い聞かせている。

川柳

八千代川柳連盟選

ふつくらと笑う財布の年金日大和田 阿部けいこ

別姓でも心は一つ屋根の下勝田 台 福島 つぐ

老いの身に続く酷暑がムチを打つ米 本 西澤はるか

音だけの花火肴に生ビール米 本 村石きな子

おにぎりの形三角味は丸大和田新田 飯田 茶子

結婚指輪無くしたけれど探さない緑が丘 川崎 謙

妻の笑み増えてカードの請求書萱田 町 倉林おさむ

赤ちゃんの世話役よりもホームラン八千代台東 木村 和夫

俳句

村上 喜代子選

老鶯の声を目で追ふ雨上がり上高野 吉田 一朗

大柄な男の扇子気ぜわしく八千代台西 加田 和子

子を抱く娘の腕太し日焼けして勝田 台北 一條 修子

輸送機の轟音重く梅雨の空八千代台北 加藤 寛昭

ウオーキング茅の輪くぐりて本殿へ村上 団地 浜西 幸子

蝉時雨母校は選挙投票所勝田 台南 大野 咲子

父の忌や靖国の井に鴨足草緑が丘 藤枝 昌文

万緑が包み込みたる露天風呂ゆりのき台矢尾 鐵太郎